

科目名		テーマ		
中国語 I B		初級中国語：中国語の発音を定着させ、基礎をマスターする		
担当者名	配当年次	単位数	学科	選択・必修 / 指定科目
戸田 聖子	1	2	経済情報学科	選択必修

[授業の内容・到達目標]

この科目は、春学期半年間、中国語 I Aにおいて中国語の入門の学習を終えた学生のためのものです。引き続き初級レベルの中国語を学んでいきます。まず春学期で学んだ中国語の発音をしっかりと定着させ、自信を持って中国語の発音ができるよう、さらに練習を重ねていきます。

この科目では、あいさつや短い会話をこなし、簡単な自己紹介などができるだけのコミュニケーション能力を身につけることを目標として授業を進めます。そのためには、基本的な文法事項をしっかりと身につけ、耳で聞いて分かり、自分でも正しく発音できる単語の数を増やしていく必要があります。

「聴く・話す・読む・書く」のバランスのとれた中国語の行使能力を身につけるためには、とても大事な土台づくりの時期ですので、しっかりと学んでください。

簡単な日常会話を学ぶと同時に、中国の悠久の歴史や文化、現代事情、そして日本とのかかわりなどについても、前期に引き続き、幅広い情報の提供を行っていきます。

[授業方法]

春学期（中国語 I A）と同様、発音やアクセントなど、ひとりひとりの受講生に対する個別の指導に極力重きをおいて授業を進めていきます。積極的に大きな声で練習するように努めてください。

また、語学習得の早道は音読を繰り返すことと短文の暗記です。授業で出てきた単語や文章は、次の授業までにしっかりと頭に入れ、いつでも口をついて出てくるようにしなければなりません。帰宅後、教科書に付属するCDをよく聴きながら、復習をきちんと行なった上で、次の授業に臨んでください。

[成績評価の方法]

- ①授業への参加態度（積極性を評価） 10%
- ②課題の提出状況（練習問題その他の提出状況とその内容） 20%
- ③試験の成績（期末試験の他、必要に応じて行った中間試験や単語の小テストなども含む） 70%

以上の配分により成績評価を行うこととします。

[テキスト]

《最新版》『中国語はじめの一步』CD付き
（竹島金吾監修 2005年）

[参考文献]

『はじめての中国語「超」入門』（相原茂 ソフトバンク新書）
『はじめての中国語』（相原茂 講談社現代新書）
『中国語のすすめ』（鐘ヶ江信光 講談社新書）

[履修上の注意・その他]

積極的な授業参加を期待します。どんどん質問してください。

[授 業 計 画]

実 施 回	内 容
1	発音と文法の基礎の復習
2	発音と文法の基礎の復習
3	「どこに住んでいますか？」－介詞 (1)
4	「どこに住んでいますか？」－「存在」を表わす「有」
5	「どこに住んでいますか？」－反復疑問文
6	「一週間に何日働きますか？」－「時間量」の表現
7	「一週間に何日働きますか？」－助動詞 (2)
8	「一週間に何日働きますか？」－介詞 (2)
9	「アメリカに行ったことがありますか？」－過去の経験
10	「アメリカに行ったことがありますか？」－「是～的」の文
11	「アメリカに行ったことがありますか？」－介詞 (3)
12	「お酒はどうですか？」－助動詞 (3)
13	「お酒はどうですか？」－「動作の程度」表現
14	「お酒はどうですか？」－動詞の重ね型
15	「何をしていますか？」－動作の進行
16	「何をしていますか？」－「しに行く」「しに来る」
17	「何をしていますか？」－選択疑問文
18	「何をしていますか？」－目的語を文頭に出す
19	「北京の人口は上海よりも多いですか？」－「比較」の表現
20	「北京の人口は上海よりも多いですか？」－「類似」の表現
21	「よい旅を！」－二つの目的語を取る動詞
22	「よい旅を！」－「的」の用法 (2)
23	「よい旅を！」－目的語が主述句
24	「決まり文句」
25	「決まり文句」
26	「自己紹介」
27	「自己紹介」
28	「自己紹介」
29	まとめと復習
30	まとめと復習